

宮崎獅子舞

団体名称 宮崎獅子舞保存会

指 定 加美町指定無形民俗文化財 平成8年4月1日

概 要

宮崎獅子舞は、宮崎字麓に所在する熊野神社の祭礼にあたり、神輿に供奉するとともに要所で舞いを奉納してきました。宮崎獅子舞の起源は熊野神社の沿革と深くつながっています。

熊野神社は、江戸時代に記された「熊野神社由諸書」によると、元応2年（1320）に社司猪股外記藤原重密が紀州熊野神社のご分霊を宮崎の地に遷し祀ったことに始まります。この時に獅子舞が紀州熊野から伝承されたと考えられます。

獅子舞は、はじめに法螺貝が吹き鳴らされます。続いて笛と太鼓によるお囃子に乗って少年2人による太刀振りと長刀振りの所作があります。続いて2人立ちの獅子が出て、「大幕」、「駆け出し」、「山落し」、「怒り」、「歯喰い」、「骨返し」、「蝶々取り」、「獅子愛し」の八つの演目を行います。

